

## インドから

## 東アジアの幕開け

ご無沙汰しております。

年も明けて早1ヶ月。

1月もなんやかんやで早いものですね。今年は各地が寒波に見舞われ大雪。

アルジェでは人質テロもおき、尖閣には度重なる領海侵犯。

世界はどうなっていくのでしょうか？

それでも日本では政権も交代し、先行きまだまだ不透明ながら若干の好況感があるのでまだ幸せなかと思います。

さて私、1月中はインドも休み多く（タミルでは PONGAL/カルナタカでは MAKARASANKRANTHI）皆ハチャイでした。

中国も旧正月に向けて追い込み忙しい時期で、国産材の仕入れの為、日本で過ごしていました。その反動で来月はほぼ日本にいません・・・。

2月はベトナム～カンボジア行きの予定です。



↑ハチャイです。

最近是他業界でもチャイナリスクを懸念して東南アジア諸国を重視する動きが活発です。それに遅れてはならず・・・というわけでもないですが我社のほうでも東南アジアを視野にいれ開発していきたいという所存です。

何点か面白そうな原石も情報上がっていますのでまた紹介させていただく予定です。

それに関してなのですが、ミャンマーの方にやる気のある工場があり、技術指導していただける職人の方を募集しております。現在はインド人の職人が指導に入っているのですがやはり国際水準に技術レベルを持っていくには日本人の腕が必要と考えているようです。

何処かに我こそはという兵（つわもの）がいらっしゃいましたら是非ご一報いただければと思います。

今回特に仕事上での重要な動きがありませんでしたので、豆知識としてカルナタカの丁場に関する特殊規制の紹介をさせていただこうかと思います。

### 1、100M ルール

カルナタカ州では森林境界から 100M 離れなければ採掘不能。(他州は約 30-50M)

該当丁場：BAN-GREY 等

### 2、30M ルール

カルナタカ州では丁場の深さが 30M 以上超えると採掘不可能。(採掘時にステップを設けるのは義務ではない)

該当丁場：M-13 等

### 3、農地制限法

カルナタカ州では農地区分とされている土地の取得は年間収入が 20 万ルピーかつ 3 年以上農業に従事したものしかできない。従って農地に鉱脈がある場合採掘は色々手段を使わねばならず非常に困難。

インド平均年収は約 10 万ルピー (約 20 万円) 農民と都市の住民の間の格差は深刻。

該当丁場：多数

等・・・。

各土地で色々なルールや規制は違ってきます。郷に入っては郷にしたがわねば上手くはいかないので難しいものですね。

それではまた来月。



とあるインド人の知人の結婚式で・・